

<サンプル>

臨床修練用伝統医学データベースの構築

関 隆志*1

*1 東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター高齢者高次脳医学研究部門

Construction of Fundamental Relational Database for training of Traditional medicine practice

Takashi Seki*1

*1 Division of Geriatric Behavioral Neurology, Tohoku University CYRIC

【緒言】

伝統医学には複数の流派があり、初学者の臨床技術を高める際の障害となる。複数の流派の術語、証の定義、生薬・経穴の属性、方剤の構成生薬・適応証、配穴などを一覧することができれば、目の前の患者に対してより正確な診断、処方を行うことが可能になる。こうした一覧は諸流派の差違を明確にすることによりそれぞれの流派の治療方法をより適切に臨床に活かすことが可能となることが期待される。この一覧機能を持つシステムをデータベースソフトウェアにより構築し、各種文献に記載された情報をデータベース化する。当研究ではそのためのデータベースの骨格の試案を作成し、実用化の可否を検討する。

【方法】

一般的なコンピュータ OS 上で稼働し、タブレット、スマートフォンなどでも活用することができ、しかも比較的安価に市販されている、ファイルメーカー社 FileMaker Pro ver13.0 を用いて、リレーショナル・データベースとして構築する。

【結果】

生薬名、方剤名、経穴名、症状名、証名、病名の相互間のリレーションのあるリレーショナル・データベースを構築した。データを入力する文献として、『中薬大辞典』『中医臨床のための生薬学』『中医臨床のための方剤学』『中医臨床のための病機と治法』『鍼灸経穴辞典』『中医薬学高級双書 針灸学』『中医薬学高級双書 針灸治療学』『鍼灸取穴入門』『現代中国針灸配穴事典』『臨床経穴学』『常用腧穴臨床發揮』『中医症候鑑別診断学』『中医症状鑑別診断学』『中医弁証学』『症例から学ぶ和漢診療学』『高等中醫院校教学参考叢書 中医診断学』『高等中醫院校教学参考叢書 中医診断学』『高等中醫院校教学参考叢書 中医耳鼻咽喉科学』『中医臨証備要』などをえらんだ。

【考察】

比較的安価なソフトウェアを用いても、伝統医学の臨床の診断・治療を支援する携帯型のデータベースシステムを構築することができることが示唆された。

キーワード：伝統医学、中医学、データベース、教育、タブレット端末